

# アイ・エー・アイ日本支部規約

## 第1章 総則

### (名称)

第1条 本会は、「アイ・エー・アイ日本支部」と称する。英語による名称は「International Alliance for Interoperability, Japan Chapter」とする。

### (目的)

第2条 本会は、米国デラウェア法人International Alliance for Interoperability, Inc. (略称「IAI」)から、「IAI」の名称及びそのトレードマーク等の使用許諾を受け、これを利用して、IAIの定める世界標準規格IFC(Industry Foundation Classes)の仕様検討を行い、日本における普及発達を促進することを目的とする。また、会員に情報交換の場を提供し、会員間の相互協力を図ることにより、日本の建設産業等の産業におけるデータ、情報等の共有及び相互利用の可能性を追求し、これを通じ広く日本における産業の振興に寄与するものとする。

### (所在地)

第3条 本会の事務所は、事務局所在地におく。

### (規約の変更)

第4条 本規約は、総会の決議なくして変更できない。

### (解散)

第5条 本会は、総会の決議により解散する。

## 第2章 会員

### (会員の資格)

第6条 以下のいずれかの事業を営む会社又は研究機関であって、幹事会所定の書面にて入会を申込み、幹事会の承認を得た者を本会の会員とする。但し、本会の発起人は、当然に会員とする。

- (1)総合建設業
- (2)設計業
- (3)不動産開発業又は不動産管理業
- (4)建築設備業
- (5)前各号の事業のためのソフトウェアの開発、製造、販売、若しくはライセンス業
- (6)その他の建設産業に関わる研究・開発業その他の事業

### (規約・規則の遵守)

第7条 会員は、本規約及び総会が定める「情報取扱規則」その他の規則を遵守しなければならない。

第8条 会員は、その担当者、担当部署、及び連絡先等幹事会の定める事項を本会に届け出るものとし、届け出た事項に変更が生じたときは、遅滞なくこれを本会に届け出なければならない。

(退会・会員資格の喪失・除名)

第9条 会員が本会を退会しようとするときは、退会を希望する日の1ヶ月前までに、幹事会に対し、幹事会所定の書面にて届け出るものとする。

2. 会員は、次の場合にその資格を失う。

(1)第6条に定める事業を行なわなくなったとき。

(2)会員が解散したとき。

(3)前項により退会したとき。

(4)次項により除名されたとき。

3. 会員が次の各号の一に該当するときは、幹事会の決議により、その行為の程度により除名又は戒告処分に付す。

(1)第24条に定める年会費又は第25条に定める臨時費用分担金その他本会に支払うべき金員の支払を怠ったとき。

(2)本規約又は総会の定める規則の条項の一つに違反したとき。

(3)本会の目的に著しく反する行為又は総会の定める本会の活動方針または事業計画に著しく違反する行為をなしたとき。

(4)その他前各号に準ずる行為をなしたとき。

### 第3章 総会

(総会)

第10条 総会は、会員全員をもって構成し、本会の最高意思決定機関として、幹事会の提案する以下の重要事項を決議する。

(1)本会の規約及び規則の制定、改廃等に関する事項

(2)本会の目的を達成するための活動方針および事業計画の決定、変更等、本会の活動に関する基本的且つ重要な事項

(招集・開催)

第11条 会長は、毎年一回通常総会を招集し、開催する。会長は、必要ありと認める場合は、何時にても臨時総会を招集し、開催することができる。

2. 会長は、各会員に総会の招集を通知する。但し、会員全員の同意により招集通知を省略することができる。

3. 会員の3分の2以上が会議の目的を示して開催を請求した場合、会長は、臨時総会を招集するものとする。

(議長)

第12条 総会の議長は、会長が、会長に事故または不都合があるときは副会長がこれに当たる。会長及び副会長の双方に事故または不都合があるときは、他の幹事会委員がこれにあたる。

( 総会の決議方法 )

第13条 総会は、会員の3分の2以上の出席(委任状を含む。但し代理人は会員に限る。)をもって成立するものとする。

2. 総会の決議は、本規約に別段の定めがある場合の他、出席会員の2分の1を越える賛成をもって可決する。但し、出席会員の数及び賛成投票の数には、委任状(但し、代理人は会員に限る)による出席者数及び投票者数を含める。
3. 会員の議決権は、会員一名につき一個とする。

## 第4章 幹事会

( 幹事会 )

第14条 幹事会は、本規約及び総会の決議に基づき、本会の目的を達成するための活動を決定し、実施する。

2. 幹事会は、会員である幹事委員によって構成される。

( 幹事委員 )

第15条 幹事委員は、総会にて承認決議を得た会員とする。

2. 幹事委員の任期は、1年間とする。
3. 幹事会は、4分の3の幹事委員が出席し、出席幹事委員の3分の2の賛成により、幹事委員の解任を決議することができる。但し、解任対象の幹事委員は、出席者数及び賛成投票数には参入しない。
4. 幹事委員は、幹事会に対し、1ヶ月前に書面により辞任を届け出ることにより、幹事委員を辞任することができる。幹事委員を辞任しても会員としての地位は失わないものとする。
5. 会員資格を喪失した者は、幹事委員の資格も喪失するものとする。

( 幹事会の招集・開催 )

第16条 幹事会は、会長が招集し、その議長となる。会長に事故または不都合が生じた場合は、副会長が、会長及び副会長に事故または不都合があるときは、他の幹事委員がこれにあたる。

2. 会長は、各幹事委員に幹事会の招集通知を発するものとする。但し、幹事委員全員の同意によりこれを省略することができる。
3. 幹事委員は、会長に対し、幹事会の開催を請求することができる。

( 会長及び副会長 )

第17条 幹事会は、幹事委員の中から互選により会長1名及び副会長を若干名選任するものとする。

2. 会長は、幹事会を統括し、総会及び幹事会の事前の承諾を得て、本会の対外的代表行為を行なうことができる。
3. 副会長は、会長を補佐し、会長に事故又は不都合あるときはこれを代行する。
4. 会長及び副会長の任期は12ヶ月とする。任期満了前に退任した会長又は副会長の補欠として選任された会長又は副会長の任期は、前任者の任期の残存期間と同一とする。会長及び副会長の再任は妨げない。

( 幹事会の決議方法 )

第18条 幹事会の決議は、本規約に別段の定めがある場合の他、委任状(但し、代理人は幹事委員に限る。)を含め4分の3以上が出席し、その3分の2以上の賛成をもって可決する。

2. 幹事委員の議決権は、幹事委員一名につき一個とする。

## 第5章 事務局

( 事務局の任務 )

第19条 事務局は、日常の会務を掌理し、幹事会及び会長を補佐する。

( 事務局の選任 )

第20条 事務局は、幹事会の決議により、幹事委員の中から選任される。幹事会は、事務局を選任したときは、その旨各会員に知らしめるものとする。

2. 事務局の任期は12ヶ月とする。事務局の再任は妨げない。

## 第6章 各種委員会

( 各種委員会 )

第21条 幹事会は、本会の目的を達成するために、必要に応じて、統合技術委員会、専門技術部会、研究指導委員会、その他各種の委員会を組織し、またこれらを解散させることができる。各委員会の運営は各委員会に委任する。

## 第7章 会計・財産の管理

( 役員の報酬 )

第22条 本会の会長、副会長、事務局、幹事委員、並びに前条の各種委員会の委員長及び委員は、無報酬とする。

( 会計年度 )

第23条 本会の会計年度は4月1日から翌年の3月末日までとする。

( 年会費 )

第24条 会員は、幹事会の定める年会費を幹事会の定める期日までに納付するものとする。

( 臨時費用分担金 )

第25条 幹事会は、以下の費用の支出のため、会員の支払うべき臨時費用分担金を定めることができる。

- (1) 本会で決定した共通仕様に関する出版・流通に関する費用
- (2) IFCの普及に関する宣伝・広報活動
- (3) その他、幹事会が本会の維持運営のために必要と判断した費用

( 財産の運用と管理 )

第26条 本会の財産運用は幹事会が行い、その管理は事務局が行うこととする。

( 会計報告 )

第27条 事務局は本会の財産状況および会計状況について、年一回、会員に報告するものとする。

( 情報の開示と成果物の取扱い )

第28条 情報の開示と成果物の取扱いについては、別途幹事会により定める。

## 第 8 章 附 則

( 施行日 )

第29条 本規約は、1996年4月19日より施行する。